

<別紙> 情報提供様式

①事例名	
「速野タイム」を生み出す教育課程の再設計 ～ 40分授業で生まれた時間が、学びと働き方を変える～	
②学校名	
守山市立速野小学校	
連絡先 077-585-1014	
③取組分野(複数選択可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程等（授業時数の点検、日課表の見直し、カリキュラム、教科担任制、行事の精選等）に関する取組	
④直面していた課題(取組前の様子)	
<p>・本校児童の課題である学力向上について現状の分析をしたところ、①授業中の集中力が持続しづらいこと、②学習内容の定着、積み上げが弱いこと、③家庭学習の習慣を定着させる必要があるという3つの要因が明らかになってきた。そこで、解決策として、以下のように考えた。</p> <p>【対策①】学習のねらいと展開をシンプルかつ分かりやすいものにし、児童が「これならわかる」「これならできる」と意欲をもてるように授業の組み立てを改善する。</p> <p>【対策②】午後に国語科・算数科の基礎基本の内容の習熟・定着を図る時間を一斉で設定し、習熟・定着に取り組む習慣を学校で付ける。</p> <p>【対策③】習熟・定着の内容を家庭学習で続けて取り組むようにシステム化し、家庭でも自主的に取り組めるようにする。これらの対策を実行するために週時程を見直し、40分授業×午前中5時間授業、午後に定着・習熟の時間を設定する新週時程を導入することにした。</p>	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
<p>「速野タイム」毎日(クラブ・委員会のある月曜日)は掃除がないので、設定時間が早くなる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13:40～13:45 移動準備(5分) 掃除から教室に戻り、準備ができた人から読書を始める ・13:45～13:50 読書活動(5分) この時間は全員読書に集中する(予めマイバックに本を用意しておく) ・13:50～14:05 国語学習:国語科の基礎基本の内容に取り組む(現在は新出漢字の習得)、算数学習:算数科の基礎基本の内容に取り組む(現在は前学年の復習) <p>取組のポイント 国語:月・水・金、算数:火・木</p>	<p>【クラブ・委員会のある月曜日の速野タイムスケジュール】</p> 
⑦取組の成果	
<p>教育課程を再設計したことにより、学習活動の構成を見直すとともに、校内における時間の使い方を整理することができた。その結果、教員の教材研究や学年会等に充てる時間を確保でき、授業の質の向上や放課後の事務処理等の業務の効率化につながった。</p> <p>成果のポイント 単に時間を生み出すことを目的とするのではなく、学習活動と校務における時間の使い方を見直すことができた点が、本取組の成果である。既存の教育課程や日課表を丁寧に点検することで、教材研究や学年会、校内研修の時間を勤務時間内で確保しやすくなり、授業改善を促すとともに、結果として教員の働き方改革にも資する取組となった。</p>	<p>【1年生の読書タイムの様子】</p> 